

院内感染対策ニュース

第45号

院内感染対策委員会

先月28年度の針刺し事故の結果をご報告しました。今年度の目標値も18件以内としています。これから新人看護師や研修医の先生方は採血や点滴を実施する機会が増えると思います。針刺し事故のないよう4月から来られた研修医3名と採血や血管確保（静脈留置針挿入）の練習をしました。もちろん、新人看護師も練習は実施しますが、研修医の先生方には新人看護師より一足先に採血などの練習を行い、針刺し事故防止のため正しい器具の使用方法をレクチャーしています。今回はその様子をレポートします。



まずは採血針やホルダーの持ち方、安全機能の作動方法をレクチャー。3人とも真剣です。採血用の練習用器材を使って実際の針を使用し穿刺。練習用器材ではうまくできていました。



3人並んで練習

04 20

意外と難しかったのが駆血帯。なかなかきつく縛れません。何度か練習しているうちにコツをつかんだようです。



2017 04 20

いよいよ自分たちの腕を使って採血実施。うまく血管に入ったり、入らなかったり…



2017 04 20



いよいよ血管確保。

04 20



2017 04 20

血管を捜す目は真剣そのもの。はじめはおっかなびっくり挿すのでなかなかすーっと入っていきません。血管の固定をしっかりとするとうまく入りました。



2017 04 20

みっちり2時間以上練習しました。針穴だらけになりながら頑張ったので、採血や血管確保の場面がありましたらぜひ研修医の先生に実施させてあげて下さい。正しい器具の使用方法を学習しました。今年は針刺し事故18件まで。皆さんご協力よろしくお祈いします。